

## 2021年 6月 浜松聖書集会のご案内

(時間：午前10時～正午)

- 6月 6日 (日) 集会 (アクト研修交流センター36セミナー室)  
司会：溝口 春江  
聖書講話：マルコによる福音書 9章14～32節  
「悪霊に憑かれた子の癒やし」 水戸 潔
- 6月13日 (日) 集会 (アクト研修交流センター36セミナー室)  
司会：武井 めぐみ  
聖書講話： 章 ～節  
「人間に従うよりも、神に従わなくてはなりません」 小田 弘平
- 6月27日 (日) 集会 (アクト研修交流センター36セミナー室)  
司会：大屋 智代 感話：伊藤 純子  
聖書講義：イザヤ書 51章  
「私の義はとこしえに、私の救いは世々に続く」 武井 陽一

・・・通 信・・・

### ○「みぎわ」第61号(2020年)原稿募集

今年もみぎわの季節が巡ってきました。4月29日、原稿募集の案内をすでに送りました。締め切りは、7月31日です(可能な限り期限を守ってください)。

「みぎわ」第61号が、再び紙上のエクレシヤの場として用いられますようにと願っています。

#### 尽きざる憐み

竹内 英子

かって私が 閉ざされた深い霧の中を 歩んでいた時  
主よ、あなたが共にいて下さったので 私は迷うことがなかった

かって私が 耐えがたい 弱さの中に佇んでいた時  
主よ、あなたの力強いみ腕が 支えて下さったので  
私は倒れることがなかった

かって私が、重い罪の中に捉(とら)われていた時  
主よ、あなたが固い縄めを 断ち切って下さったので  
私は自由になった。

与えられた自由の日々に 私は知った  
人の救はただ 主の尽きざる憐みによることを

(「復活」第215号 1984年6・7月)

#### 苦難の福音

溝口 正

「だれでも、わたしについてきたいと思うなら、自分を捨て、自分の十字架を負うて、わたしに従ってきなさい。自分の生命を救おうと思う者は、それを失い、わたしのため、また福音のために自分の命を失う者は、それを救うであろう」(マルコ8・34～35)

私にとって、この聖句は非常に具体的で、はっきりした細い道でした。その道がすうっと見えてきますと、心が落ちつき、恐怖と不安が消えて、その道を歩いて行くことに心が定まったのであります。キリストが従ってこいとおっしゃる、だから、キリストが私の前を歩いて下さる。そのことが、私の唯一の、そして不動の依り頼みでありました。

イエス・キリストのみあとに従うということは、大ぜいだがやがやと従うというのではなくて、誰もいない、相談さえできないところで、ほんとに、ひとりぼっちになつてしたがって行くものだというのを、小さいながら体験いたすことができたのであります。…

(「復活」第110号 1975年2月)